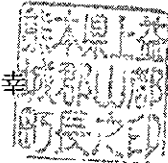


山建第679号
平成20年10月21日

国土交通省道路局長 様

熊本県山都町長 甲斐利幸



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け国道企37号で提出依頼のありました標記の件につきまして、
別添のとおり提出いたします。

- ・九州横断自動車道延岡線：嘉島～山都間の早期開通（工事期間の短縮）
- ・九州横断自動車道延岡線：山都～延岡間の整備区間への格上げ並びに工事着工
- ・整備計画路線 9,342km の早期整備、国土開発幹線自動車道建設法等に定められた予定路線 11,520km の着実な整備の外、主要地方道においては重要路線と位置付け、国の責任において整備を行うこと。
- ・道路行政は、国土交通省関係道路・農林水産省関係道路等複数省庁に関係するため、省庁間の調整を行い道路整備にかかる窓口の一本化を図って欲しい。
- ・道路整備にかかる道路財源を責任持って確保するようお願いしたい。
- ・道路特定財源が一般財源化されるが、今後市町村では特に舗装の修繕、橋梁やトンネルの改修・補強等に費用がいる。これは重要道路（幹線）だけでなく、集落内の市町村道においてもいえることである。この財源を確保することが大事である。
- ・本町では約 930 路線、900km 以上の町道を管理しており、その大部分の舗装が痛んでいる。しかし、維持工事費が限られており、緊急に必要な工事（災害対策など）の対応で予算を消化しており、舗装工事のほとんどが出来ていないため、予算措置をお願いしたい。
- ・町道の草刈りについて、地元をお願いしていたが、高齢化により草刈りができない状況にある。このままでは町道に草が茂り、視界を妨げ事故につながるため、草刈りに対する予算措置または除草工事に対する予算措置をお願いしたい。
- ・積雪により事故が多発しているため、除雪に対する予算措置をお願いしたい。
- ・山間部では崖の間を町道が通っており、落石等の危険があるため、防災工事に対する予算措置をお願いしたい。
- ・事故防止や防犯のため、町道の照明設置の予算措置をお願いしたい。

②-1 地域の現状と抱える課題

熊本県上益城郡山都町

○ 現状 ・施設の整った救急病院が無いいため大きなケガ等の場合は転送しなければならない。 ・出産において、町内に分娩を行う病院がない。 ・企業誘致に際して、交通アクセスの不便さにより、思ように誘致が進まない。 ・新鮮な食料輸送に時間がかかっている。 ・広域的な観光行政の拡大をしようとしてもアクセスが悪い。 ・高速道路建設に当たって、費用対便益（B/C）の算定基準の見直しが必要である。	○ 課題 ・一般国道の整備も遅れており、救急搬送の場合でも、熊本市内の救急病院へ行くのに1時間程度かかっている。 ・1時間ほどかけて、熊本市や宇城市の病院へ通っており、陣痛がはじまってからの長距離移動は、母子ともに危険を伴う。 ・用地、水等の条件は整っているが、交通アクセスの改善が見込まれてからの進出と、二の足を踏まれている。 ・新鮮な農産物の流通に支障をきたしている。高速交通網が早急に必要である。 ・個々が持つ観光資源を広域につなぎ、効果的に発揮させるためには、高速道路の早期開通が必要。 ・現在の走行時間の短縮、走行経費の減少、事故の減少による便益の算定のみならず、高速道路網が開通しネットワークが完成することによる、物流・産業誘致・救急医療体制等の便益を考慮すべき。
--	---

②-2 地域の目指すべき将来像

熊本県上益城郡山都町

地域産業の発展や交流の促進、連携強化を図るため、高規格道路・国道・県道・町道・農林道などを総合的なネットワークとして整備する必要があります。特に、地方と呼ばれる中山間地においては、基幹となる地方道を主軸とし、その主軸から分岐する道路が地域の末端までつながり、日々の生活を営むことが出来ることが、地域存続の要となるものであります。

しかしながら、経済の流れは中央向きであり、一方の地方においては道路財源を含み財源は乏しく、日常的な維持管理工事も出来なく、道路行政も疲弊した状況に追い込まれております。

当地域においては、九州のほぼ中央に位置し、東西交通の拠点となっている地域であり、横断自動車道等の整備は、産業・観光・文化・医療行政等において欠くことができないものである。

● 美しいみちづくり

環境に優しく、恵まれた自然を守り保全し、景観に配慮し、快適で美しい道路空間を創出する。また、幼児から高齢者・障害者まで利用しやすく、生活者の視線に沿った美しい道づくりをめざす。

● まちや暮らしを支える道づくり

地域の活性化や町の核を作り上げるためや、農林業を中心とした産業の育成や、地域が支える課題を道路整備に沿って解決し、経済の活性化を図り快適な生活空間の創造を図る。

● 地域をつなぐみちづくり

横断道路を含む高規格幹線道路整備は、中央や沿線との相互交流を生み、経済的なつながりを醸成します。交通の拠点や市街地中心部へのアクセスを容易とし、広域ながらも九州・県内の短時間移動の確立を図る。

● 計画的なみちづくり

地域の住民の誰もが、安心して生活するためには、安全で利便性の高い交通基盤の整備は欠かすことは出来ません。また、安定した生活をおくるためには、災害に強い道路作りが必要であり、的確な道路情報提供や道路保全にも務めなければならない。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

熊本県上益城郡山都町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上	九州横断自動車道延岡線全線の早期開通 付帯工事等の国直轄施行	広域の交流や流通が盛んになり、地域経済の浮揚施策につながる。 インターチェンジやスマートインターの設置を国の直轄で行って欲しい。 (地方の負担軽減)	
総合的な交通安全 対策及び危機管理 の強化	インターチェンジ（ハーフインター）を 近距離にて設置	車両の出入りを容易にし、緊急時に備える。これは、高規格道路内の事故のみならず、沿線の事故等にも緊急に対応できる。また、使いやすく、利用頻度も高くなると思われ、地方の経済の浮揚に繋がる。	
少子・高齢化社会に 対応した子育て環 境・バリアフリー社 会の形成	インター設置個所への住宅用地や企業の 率先誘致対策 国立（公立）病院の適正配分	人口や経済の分散を中央から地方へ行わない限り、国土の発展はない。 広域であっても短時間で移動できるようになれば、快適な自然環境での疾病治療が有効と思われる。また、子育ての分野においても安心した生活環境を提供できる。	

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式①【参考資料】

熊本県上益城郡山都町

道路整備には、施策的な道整備や渋滞の解消等交通機能の改善を図るもの、また生活道路、防災、交通の安全を図るために行うものなど、道路をとりまく地域性や環境によって道整備のありかたも多様であると考えられます。道路整備を画一的にとらえず、地域の実情やニーズにあった道路整備を町が主体的に計画し複合的な補助制度を採用してもらえば、より効率的でさまざまな効果の期待できる道路整備が実現すると考えます。以下イメージを図に表しました。

